

広島県後期高齢者医療広域連合の財政状況の公表

～ 令和元年11月 ～

この「財政状況の公表」は、後期高齢者医療制度の運営にお金がどのように使われているのかといった広域連合の財政状況を、皆さんに知っていただくため、毎年度、5月に下半期分（前年10月1日から3月31日まで）の財政状況と当年度の当初予算を、11月に上半期分（4月1日から9月30日まで）の財政状況と前年度の決算状況を「広島県後期高齢者医療広域連合の財政状況の作成及び公表に関する条例」に基づき公表するものです。

今回は、令和元年度上半期（平成31年4月1日から令和元年9月30日まで）の予算の執行や財産の状況と平成30年度の決算状況について公表します。

また、最後に、主要な予算科目の内容について簡単に説明していますので参考にしてください。

令和元年度上半期の財政状況

～予算執行の状況と資産等の概要～

以下で説明する財政状況は、令和元年9月30日現在で記載しています。

1 令和元年度上半期の歳入歳出予算の執行状況

予算執行状況については次のとおりです。

●一般会計の予算執行状況（令和元年9月30日現在）

（歳入）

（単位：千円）

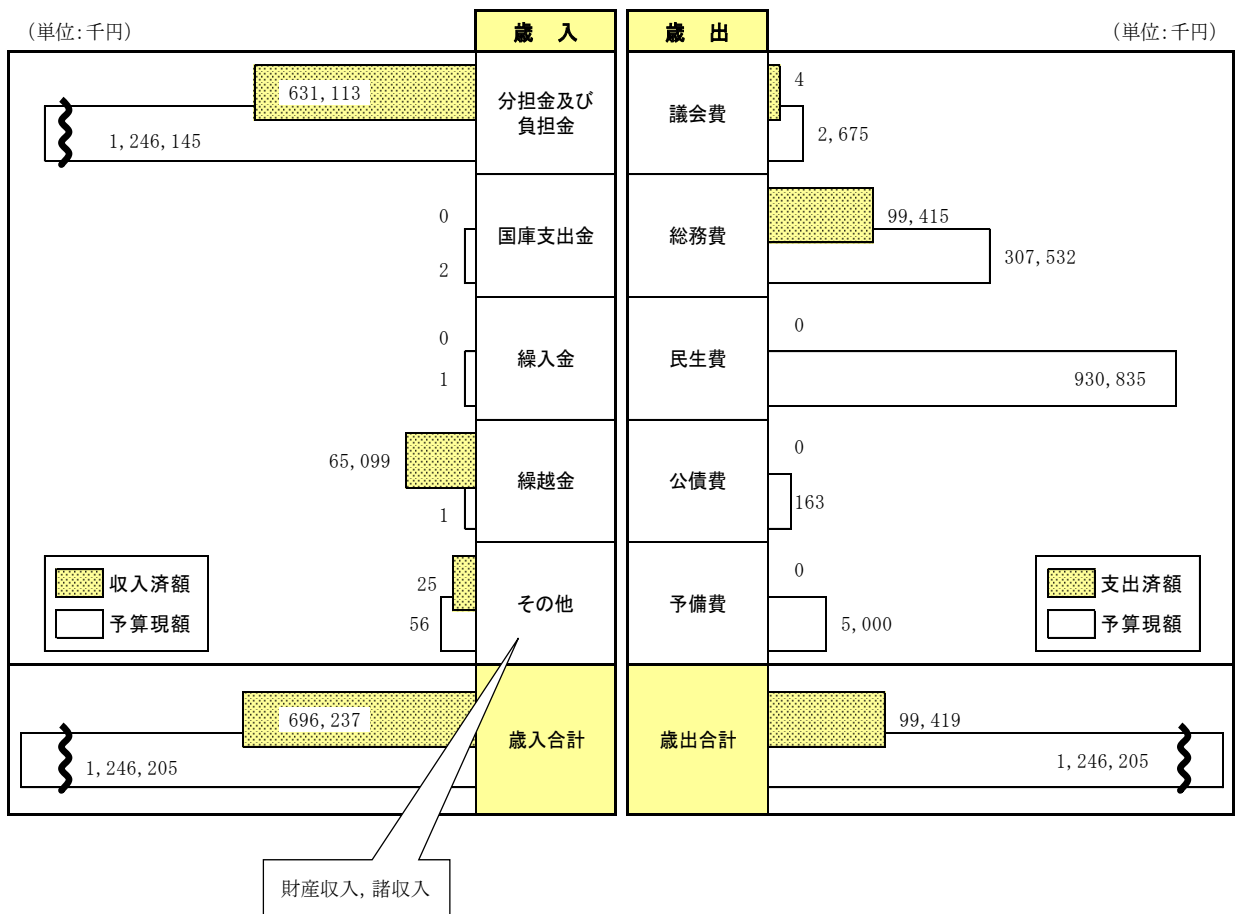
区 分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)
分担金及び負担金	1,246,145	631,113	50.6%
国庫支出金	2	0	0.0%
財産収入	21	4	19.0%
繰入金	1	0	0.0%
繰越金	1	65,099	6,509,900.0%
諸収入	35	21	60.0%
合 計	1,246,205	696,237	55.9%

（歳出）

（単位：千円）

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)
議会費	2,675	4	0.1%
総務費	307,532	99,415	32.3%
民生費	930,835	0	0.0%
公債費	163	0	0.0%
予備費	5,000	0	0.0%
合 計	1,246,205	99,419	8.0%

グラフ「令和元年度一般会計予算の執行状況（令和元年9月30日現在）」



(注) 上のグラフには、視覚的にわかりやすくしているため、数値と棒グラフの長さの比が合致しない箇所があります。

●後期高齢者医療特別会計の予算執行状況（令和元年9月30日現在）

（歳入）

（単位：千円）

区 分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)
市町支出金	70,226,883	29,838,522	42.5%
市町保険料等負担金※	37,673,441	13,469,121	35.8%
国庫支出金	135,853,092	81,466,204	60.0%
県支出金	34,079,201	21,702,297	63.7%
支払基金交付金	171,051,584	72,548,367	42.4%
特別高額医療費 共同事業交付金	73,570	0	0.0%
財産収入	697	180	25.8%
繰入金	4,380,892	0	0.0%
繰越金	1	6,315,299	631,529,900.0%
県財政安定化 基金借入金	1	0	0.0%
諸収入	473,118	226,043	47.8%
合 計	416,139,039	212,096,912	51.0%

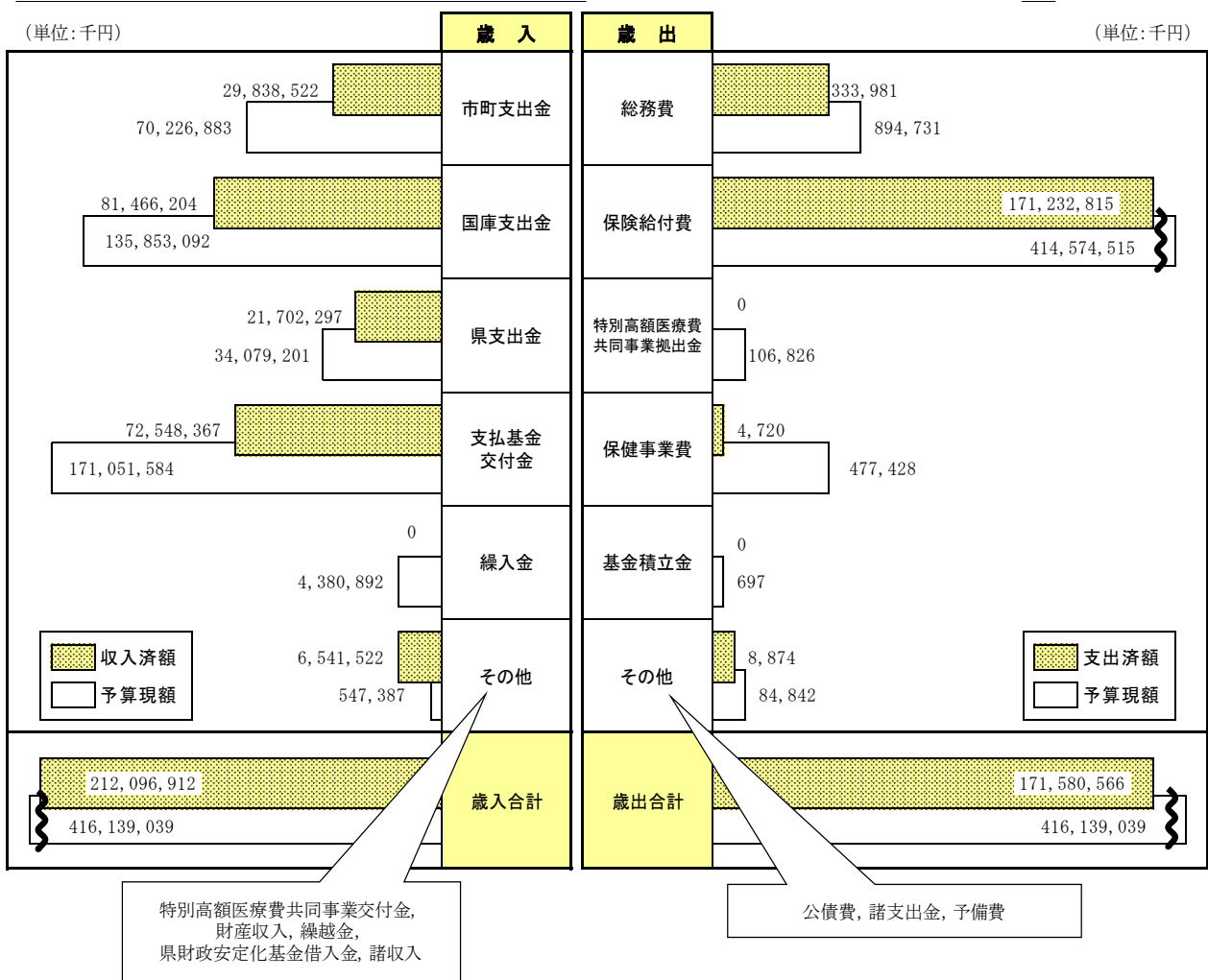
※市町保険料等負担金：市町支出金のうち保険料等についての再掲

（歳出）

（単位：千円）

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)
総務費	894,731	333,981	37.3%
保険給付費	414,574,515	171,232,815	41.3%
特別高額医療費 共同事業拠出金	106,826	0	0.0%
保健事業費	477,428	4,720	1.0%
基金積立金	697	176	25.3%
公債費	3,247	0	0.0%
諸支出金	56,595	8,874	15.7%
予備費	25,000	0	0.0%
合 計	416,139,039	171,580,566	41.2%

グラフ「令和元年度後期高齢者医療特別会計予算の執行状況（令和元年9月30日現在）」



(注)上のグラフには、視覚的にわかりやすくしているため、数値と棒グラフの長さの比が合致しない箇所があります。

2 広域連合が所有する財産の現在高

令和元年9月30日現在において、広域連合が所有する財産は、次のとおりです。

【物 品】

区 分	数 量	摘 要
物 品	3	広域連合システム処理結果検証用機器1式、広域連合システムデータベースサーバ関連機器1式、新財務会計システム1式

(取得価格1件100万円以上の物品)

【基 金】

名 称	金 額 (円)	摘 要
財政調整基金	248,262,793	決算剰余金等を積み立て、不測の支出に備えるための基金
後期高齢者医療給付準備基金	10,697,484,939	徴収した保険料のうち、その年度に余ったものを積み立て、次年度以降の給付に充てるための基金

3 一時借入金及び地方債の借入状況

(1) 一時借入金

一時借入金とは、一時的な現金の不足を補うための短期借入金です。

令和元年4月1日から9月30日までの間の借入れはありませんでした。

(2) 地方債（広域連合債）

地方債とは、その償還が借入年度以降にわたる長期の借入金で、多額の事業費の財源を確保し、費用負担の世代間格差を是正するためのものです。

令和元年9月30日現在において、借入れはありません。

4 住民負担の状況

被保険者に納めていただいた保険料は、医療給付等に要する費用に充てられる「保険料等負担金」として、各市町から広域連合に納付されています。

この他、各市町からは、広域連合の運営に要する費用に充てられる「事務費負担金」、及び医療給付に要する費用に一定の割合で充てられる「療養給付費負担金」が広域連合に納付されています。

平成31年4月1日から令和元年9月30日における各市町の納付額は、次のとおりです。

(単位：千円)

区分	保険料等負担金	事務費負担金	療養給付費負担金	合計
広島市	5,341,571	214,798	5,422,524	10,978,893
呉市	1,336,829	53,869	1,774,086	3,164,784
竹原市	191,716	9,120	233,694	434,530
三原市	594,418	23,918	759,474	1,377,810
尾道市	926,949	34,509	1,062,876	2,024,334
福山市	2,230,487	92,893	2,414,940	4,738,320
府中市	285,217	12,110	293,982	591,309
三次市	375,110	23,072	544,145	942,327
庄原市	273,537	12,737	381,972	668,246
大竹市	189,029	8,815	215,280	413,124
東広島市	840,101	35,410	869,742	1,745,253
廿日市市	673,172	26,549	656,568	1,356,289
安芸高田市	204,106	9,902	236,016	450,024
江田島市	201,467	8,938	266,376	476,781
府中町	271,655	11,912	260,550	544,117
海田町	141,707	7,848	140,112	289,667
熊野町	170,426	7,938	155,796	334,160
坂町	84,932	8,031	104,062	197,025
安芸太田町	50,796	4,750	86,256	141,802
北広島町	123,694	7,275	163,218	294,187
大崎上島町	70,731	5,017	95,844	171,592
世羅町	118,195	6,990	136,086	261,271
神石高原町	76,804	5,490	95,802	178,096
合計	14,772,649	631,892	16,369,401	31,773,942

※保険料等負担金には、平成30年度分の納付額(1,304,308千円)を含んでいます。

主要な予算科目の内容

1 一般会計

(歳 入)

区 分	説 明
分担金及び負担金	広域連合を構成する23市町からの事務費分担金
国庫支出金	「意見を聞く場」の設置等に要する経費に充てられる特別調整交付金等
財産収入	基金の運用預金利子
繰入金	財政調整基金からの繰入れ
繰越金	前年度の決算剰余金の繰越し
諸収入	その他の収入

(歳 出)

区 分	説 明
議会費	広域連合の議員報酬や議会の運営のための経費
総務費	職員の人件費や広域連合の運営に要する経費
民生費	後期高齢者医療特別会計の事務費等の経費に充てる繰出金
公債費	一時的な現金不足に対処するため、借り入れる資金に対する支払利子
予備費	不測の支出に備えるための経費

2 後期高齢者医療特別会計

(歳 入)

区 分	説 明
市町支出金	被保険者から徴収した保険料や、被保険者が受けた医療給付の1/12相当の市町の公費負担
国庫支出金	被保険者が受けた医療給付の3/12相当の公費負担や、広域連合間の財政調整を目的とした調整交付金等
県支出金	被保険者が受けた医療給付の1/12相当の公費負担等
支払基金交付金	現役世代からの後期高齢者支援金
特別高額医療費 共同事業交付金	著しく高額な医療費の発生による影響を緩和するための交付金
財産収入	基金の運用預金利子
繰入金	一般会計、給付準備基金からの繰入金
繰越金	前年度の決算剰余金の繰越し
県財政安定化基金 借入金	後期高齢者医療の財政安定化を目的に県が設置する基金からの借入金
諸収入	その他の収入

(歳 出)

区 分	説 明
総務費	後期高齢者医療制度の事務執行に伴う経費
保険給付費	療養給付費、高額療養費、葬祭費等の保険給付のための経費
特別高額医療費 共同事業拠出金	全国の広域連合が負担し、特別高額医療費共同事業交付金の財源となる拠出金
保健事業費	各市町で行う被保険者の健康診査等の保健事業に対する補助金等
基金積立金	給付準備基金への積立金
公債費	一時的な現金不足に対処するため、借り入れる資金に対する支払利子
諸支出金	国庫負担金、県負担金、市町負担金の返還等に要する経費
予備費	不測の支出に備えるための経費

平成30年度広域連合の決算の状況

1 平成30年度の事業

平成30年度、広域連合では平成29年度に引き続き、被保険者に安定した医療給付を実施していくための各種の事業を行い、制度の円滑かつ効率的な運営に努めました。

各会計の主な支出は次のとおりです。

●平成30年度一般会計の主な事業

主な経費としては、後期高齢者医療特別会計の事務費に充てるための事務費繰出金（744,760千円）、派遣職員の給料等負担金（242,669千円）等となっています。

●平成30年度後期高齢者医療特別会計の主な事業

主な経費としては、被保険者の医療機関等での受診に対する療養給付費を中心とした保険給付費（375,885,080千円）、市町が行う健康診査事業、歯科健康診査事業、長寿・健康増進事業や低栄養防止・重症化予防等推進事業に対する補助（362,241千円）、電算処理システムの安定稼動と適正運用のための広域連合電算処理システム運用管理事業（256,180千円）、レセプト点検や医療費通知、後発医薬品差額通知、療養費支給申請書内容点検等の医療費適正化対策事業（154,834千円）等となっています。

2 平成30年度一般会計の決算状況

歳入決算額	10億9,978万6,241円
歳出決算額	10億3,468万7,308円
歳入歳出差引額	6,509万8,933円

(1) 歳入の状況

平成30年度一般会計の財源構成は、構成市町からの負担金が全体の大部分を占めています。

前年度と比較すると、合計で89,976千円(8.91%)の増となっておりますが、これは主に、歳出の増加に伴い、構成市町からの事務費分担金が85,459千円(8.5%)増額となったことによるものです。

(歳入)

(単位:千円)

区分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)	全体に 占める 割合	前年度 収入済額 (C)	増減 (D=B-C)	増減率 (D/C)
分担金及び負担金	1,094,897	1,094,897	100.0%	99.6%	1,009,438	85,459	8.5%
国庫支出金	51	300	588.2%	0.0%	200	100	50.0%
財産収入	24	24	100.0%	0.0%	58	△34	△58.6%
繰入金	26,446	0	0.0%	0.0%	0	0	—
繰越金	4,514	4,514	100.0%	0.4%	52	4,462	8,580.8%
諸収入	38	51	134.2%	0.0%	62	△11	△17.7%
合計	1,125,970	1,099,786	97.7%	100.0%	1,009,810	89,976	8.91%

(注) 端数処理の都合で全体に占める割合の合計が100.0%にならない場合があります。

(2) 歳出の状況

平成30年度の歳出の状況を行政目的別に見ると、特別会計事務費繰出金等の民生費が72.0%を占め、次いで広域連合事務局の運営経費である総務費が全体の27.9%となっています。

前年度と比較すると、民生費19,547千円(2.7%)の増を中心に、合計で29,391千円(2.9%)の増となりました。

(歳 出)

(単位:千円)

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)	全体に 占める 割合	前年度 支出済額 (C)	増減 (D=B-C)	増減率 (D/C)
議会費	2,221	862	38.8%	0.1%	963	△101	△10.5%
総務費	309,024	289,065	93.5%	27.9%	279,120	9,945	3.6%
民生費	809,562	744,760	92.0%	72.0%	725,213	19,547	2.7%
公債費	163	0	0.0%	0.0%	0	0	—
予備費	5,000	0	0.0%	0.0%	0	0	—
合 計	1,125,970	1,034,687	91.9%	100.0%	1,005,296	29,391	2.9%

(注) 端数処理の都合で全体に占める割合の合計が100.0%にならない場合があります。

3 平成30年度後期高齢者医療特別会計の決算状況

歳入決算額	4,078億3,353万3,823円
歳出決算額	4,015億1,823万4,498円
歳入歳出差引額	63億1,529万9,325円

この差引額は、平成30年度の剰余金として令和元年度に繰り越し、国庫補助金等の返還金の財源に充てます。

(1) 歳入の状況

平成30年度後期高齢者医療特別会計の財源構成は、現役世代からの支援金である支払基金交付金が全体の40.0%を占め、次いで国庫支出金が34.1%、市町支出金が16.7%、県支出金が8.1%となっています。

(歳入)

(単位:千円)

区分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)	全体に 占める 割合	前年度 収入済額 (C)	増減 (D=B-C)	増減率 (D/C)
市町支出金	69,247,577	68,243,271	98.5%	16.7%	64,588,947	3,654,324	5.7%
市町保険料等負担金※	37,399,804	36,867,373	98.6%	9.0%	34,440,791	2,426,582	0.3%
国庫支出金	132,645,871	139,088,887	104.9%	34.1%	134,243,607	4,845,280	3.6%
県支出金	32,985,160	33,130,292	100.4%	8.1%	32,911,477	218,815	0.7%
支払基金交付金	163,603,869	163,313,096	99.8%	40.0%	160,032,437	3,280,659	2.0%
特別高額医療費 共同事業交付金	72,791	83,759	115.1%	0.0%	75,460	8,299	11.0%
財産収入	1,068	1,067	99.9%	0.0%	2,335	△1,268	△54.3%
繰入金	4,299,706	744,760	17.3%	0.2%	725,213	19,547	2.7%
繰越金	2,763,865	2,763,866	100.0%	0.7%	7,434,453	△4,670,587	△62.8%
県財政安定化 基金借入金	1	0	0.0%	0.0%	0	0	—
諸収入	450,534	464,536	103.1%	0.1%	529,964	△65,428	△12.3%
合計	406,070,442	407,833,534	100.4%	100.0%	400,543,893	7,289,641	1.8%

※市町保険料等負担金:市町支出金のうち保険料等についての再掲

(注) 端数処理の都合で全体に占める割合の合計が100.0%にならない場合があります。

(2) 歳出の状況

平成30年度の歳出の状況を行政目的別に見ると、被保険者の医療機関等での受診に対する療養給付費を中心とした保険給付費が全体の98.9%と歳出総額のほとんどを占め、次いで平成29年度交付分の国庫支出金返還金を中心とした諸支出金が1.1%となっています。

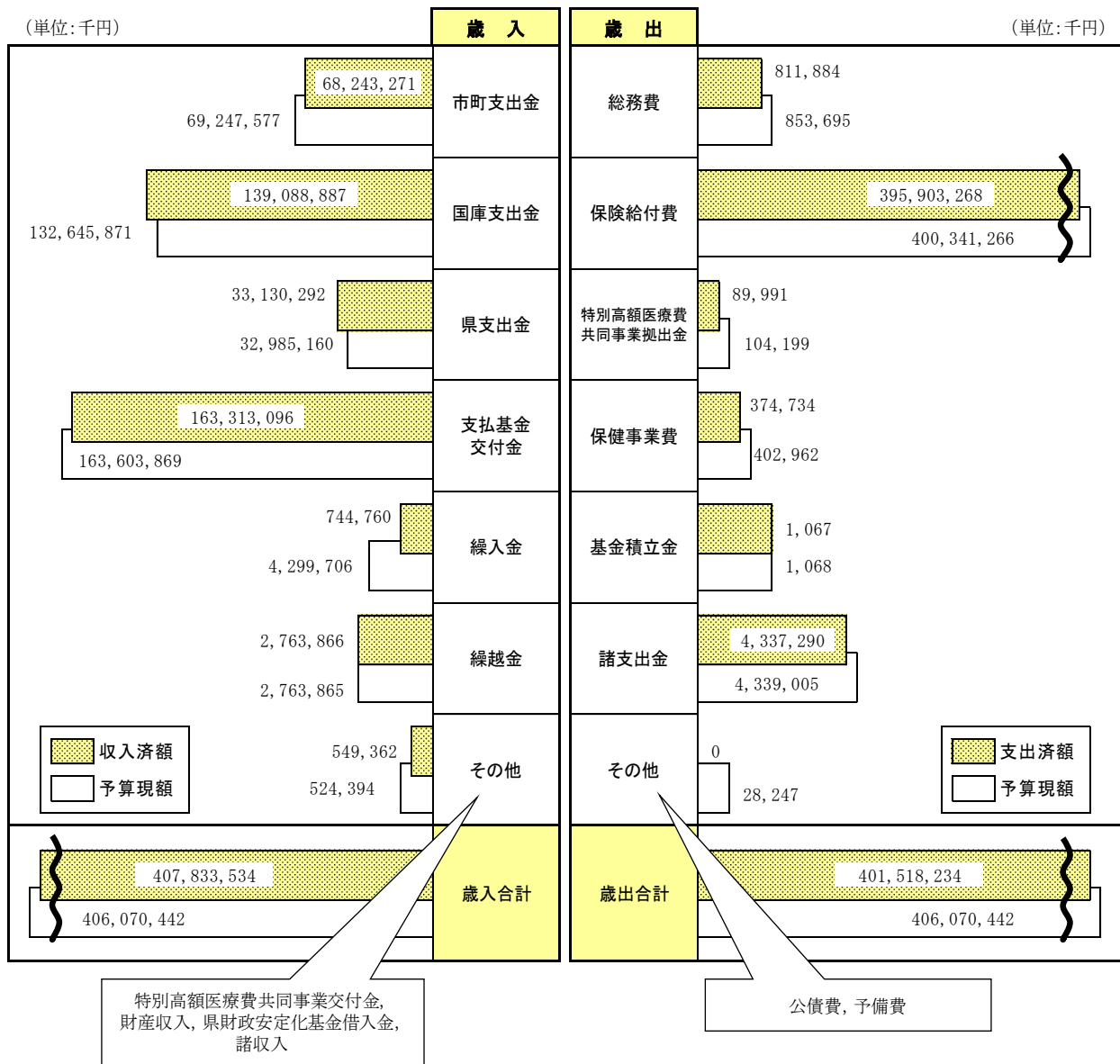
(歳出)

(単位:千円)

区分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)	全体に 占める 割合	前年度 支出済額 (C)	増減 (D=B-C)	増減率 (D/C)
総務費	853,695	811,884	95.1%	0.2%	765,132	46,752	6.1%
保険給付費	400,341,266	395,903,268	98.9%	98.6%	388,281,188	7,622,080	2.0%
特別高額医療費 共同事業拠出金	104,199	89,991	86.4%	0.0%	89,314	677	0.8%
保健事業費	402,962	374,734	93.0%	0.1%	338,552	36,182	10.7%
基金積立金	1,068	1,067	99.9%	0.0%	1,224,392	△1,223,325	△99.9%
公債費	3,247	0	0.0%	0.0%	0	0	—
諸支出金	4,339,005	4,337,290	100.0%	1.1%	7,081,449	△2,744,159	△38.8%
予備費	25,000	0	0.0%	0.0%	0	0	—
合計	406,070,442	401,518,234	98.9%	100.0%	397,780,027	3,738,207	0.9%

(注) 端数処理の都合で全体に占める割合の合計が100.0%にならない場合があります。

グラフ「平成30年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の状況」



(注) 上のグラフには、視覚的にわかりやすくしているため、数値と棒グラフの長さの比が合致しない箇所があります。